

『創 生』

施政方針を述べる中崎町長



中崎町長は2月16日（火）の町議会本会議において、平成28年度の施政方針演説を行いました。大磯町にある「ひとの力」「自然・文化」といった地域資源を活用し、安心して暮らせる町を創るとともに、一人ひとりが輝く町を実現するため、ゆるぎない信念を持ち、しっかりと未来を見て、町民の皆さんとともに新しい大磯を創生していく決意を述べました。

問 政策課 内線229

大磯の創生をめざす4つの力点は、『子育て』『教育』『健康』『観光』

子育て

この町で子どもを育てたいと願う子育て世代の皆さんを増やし、子育てで選ばれる町をめざします。子育て世代の経済的負担を減らし、安心して出産し、育てやすい環境整備として、妊婦健康診査費用の補助を増額するほか、保育所等の第2子以降の利用者負担を無料とします。

また、多様な子育てニーズに応えていくため、認定こども園での病後児保育制度や発達特性を早期に把握する5歳児健診を試行的に実施するとともに、子どもたちの安全安心な居場所をつくり、働きながら子育てができる支援を進めます。

教育

教育大綱の基本理念である「いのち」と「こころ」を輝かせる、子どもたちの知力、体力、共感力を育むため、美しい自然と歴史・文化を大切にする教育をめざします。

「いのち」そして「こころ」が傷つくことを防ぐ取組みを進めるほか、児童や生徒の確かな学力、健やかな体、豊かな心を育むため、教職員の指導力の向上に努めます。また、給食を通して、安全で栄養バランスのとれた食事を提供し、健やかな体づくりや体力強化につなげるとともに、給食を「食育」の場として、食習慣と食文化を学ぶ機会とします。

健康

健康寿命の延伸をめざし、地域を巡回する「おあしす24健康おおいぞ」では、専門家などと連携しながら取り組むとともに、生活習慣病の重症化予防に継続して取り組みます。また、ロコモティブシンドローム予防対策として、「アンチロコモ教室」で運動プログラムを提供し、ロコモ予防への認識と行動が実践できる人を増やします。

スポーツでは、子どもたちの体力向上をめざし、幼児期からスポーツ活動に親しむ機会の創出に継続して応えていくとともに、健康、食、スポーツの3分野を一体的に推進していく新たな計画の策定を進めます。

観光

政財界人が残した邸園文化や町並み、豊かな自然の恵みなど、大磯にしかない地域資源を守りつつ、魅力の創出を図ります。

大磯の魅力の発信と地域への愛着や誇りを持っていただく大磯ブランド戦略によるPRや、大磯港みなどオアシス整備事業基本構想を策定し、賑わい交流施設の整備を進めるほか、町全体を自転車で結ぶネットワークづくりを引き続き進めます。また、郷土資料館のリニューアル工事や旧吉田茂邸のオープニングイベントを開催し、新たな吉田邸として近現代で活躍された方々の心を学び、日本人の誇りを取り戻す場を創ります。

町民の
皆さんへ

信頼と責任ある町政を持続し、皆さんとともに汗を流し、一つひとつ解決すべき課題と向かい、未来の形を創ってまいります。これまでも主体的な取組みをお願いしてまいりましたが、大磯を創生するためには、町民の皆さんの力が必要です。皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。